



2019年12月12日発行 会報第999号

今週のプログラム

(2019年12月12日 第999回例会)

「よもやま話」

担当:水島 洋 会員

次週のプログラム

(2019年12月19日 第1000回例会)

クリスマス例会(家族例会)

第1000回記念例会

担当:藤田 芳浩 親睦委員長

第998回例会 (2019年12月5日) の記録

<会長の時間>

木下 健治会長

皆様、こんばんは。今日も欠席で大変申し訳ありません。これが読まれる頃は、シカゴは15時間の時差があるので、真夜中ですね。先週のファイアサイドミーティングはありがとうございました。おかげさまで事務局の引越しが皆さんのお力添えでスムーズにいけそうです。来週は年次総会と理事会、その次の週はもう1000回記念例会です。それで今年は終わりです。本当に早いものです。怒涛のような半年でした。

先週土曜日は、茨木RCの創立60周年記念式典がありました。最後まで出席予定でしたが、急遽妻の祖母が亡くなり、その日が岐阜でお通夜になったので、式典だけ出席してその後の祝宴には参加できませんでした。せっかく行かせて頂いたのに申し訳ありませんでした。プログラムを見ると、祝宴でも追手門大学チアダンス部や宝塚歌劇団OGによるアトラクションもあったりして、面白そうでしたが見られずに残念でした。会場に入ってびっくりしたのが、約150名という出席者の多さでした。茨木RCも20数名のクラブです。姉妹クラブも結構あり、東京、神奈川、仙台そして台北とジャカルタからも多数参加されていました。しかも次年度ガバナーになられる簡仁一ガバナーエレクトを擁しています。どこにそんなパワーがあるのかと思いながら式典を聞いていました。

この5年間の活動の振り返りビデオがあり、奉仕活動も結構されていました。その中で印象に残っているのは、茨木支援学校への支援でした。寄付はもちろん、生徒と一緒にバーベキューをする等共に過ごす時間が多いと思いました。生徒が心を込めて作ったボードを記念品で頂いたので、次週お持ちします。また台北やジャカルタにも行かれ、ジャカルタでは子供たちに交通用のヘルメットを寄贈されていました。それを被って喜ぶ子供たちの表情が忘れられません。振り返って、私達のクラブはやはり山本加奈子さんを通じてのラオス支援活動がメインです。黒川先生がいつもラオス基金に書いてらっしゃるように、現地に行かないとわからない事・感じられない事も多いと思います。山本加奈子さんからは、最近では真備町の支援依頼もあるので、こうやって実際に活動されている方との繋がりは非常に大事な事かと思えます。

<お客様> 無し

<出席報告> 山本(友)SAA 補助

会員数 (内出席免除会員 1 名) 19 名

本日の出席者数 (内免除会員 1 名) 15 名
(内名誉会員 0 名)

本日の出席率 78.95%

<ロータリーソング> 全会員

♪君が代♪

♪奉仕の理想♪

<ピアノ演奏> 近藤 美里さん

1 The Chestnuts Roasting On An Open Fire

2 そりすべり

3 Here Comes Santa Claus

4 ママがサンタにキッスした

<幹事報告> 水島 洋元幹事

1. 昨日グループメールにてご連絡いたしました。真備町への支援物資をご寄付くださるかたは来週例会までに事務局へお持ち込みください。
2. RI 第 2660 地区 2006 年～2007 年度ガバナー岩田宙造様のご逝去されたことのご連絡がありましたので回覧致します。
3. 12 月のロータリーレートは \$ 1=¥108 です。
4. 第 1000 回記念例会・講演会及びクリスマス例会のご案内と出欠表を回覧致しますので、必ずご記入下さい。
5. 国連支援基金の募金箱を昨年度から受け付けに置いておりましたが、2019 年までのキャンペーンになっておりますので、12 月末には社会奉仕委員会から 1 万円を送金致します。
6. ともしび会から届きましたクリスマスカードを回覧致します。

<委員会報告>

◆藤田親睦委員長より

今週 3 日に水島元幹事とともに千里 RC に行ってきました。

こちらの 1000 回例会(クリスマス例会)の紹介並びにご出席を勧誘してきました。

また、来年の新年例会は、新例会場「ル・ジャルダン」で行います。

◆松田プログラム委員長より

後期プログラムを作成の上、グループメールでお送り致します。

<今月お誕生日>

西本 詩子会員 (1 日)

藤田 芳浩会員 (8 日)

木下 健治会員 (23 日)

※スマイルボックス

村田会員 柳原会員 卓話楽しみに来ました。

相原会員 コメントありません。

※ロータリー財団

藤田会長 新年例会 2020 年 1 月 9 日は、「ル・ジャルダン」の移動例会となります。

高尾会員 コメントありません。

※米山記念奨学会

水本会長 やはり師走！ バタバタしてます！！

柳原会員 今年も、あとわずかです。

高尾会員・山本（雅）会員 コメントありません。

※ラオス基金

柳原会員 今日は、卓話です、あ～。

※メイプル基金

水島会員・藤田会員・高尾会員(同趣旨) 柳原会員 卓話楽しみですよろしく!!

黒川会員 親友が他界しました。

山本（友）会員 コンペよろしくお願ひします。日曜日。

柳原会員 この前、ガシラ行きました。大漁でした。

西本（詩）会員 誕生日 皆様にお祝ひして戴き幸せです。

相原会員・西本（明）会員 コメントありません。



<卓 話>

柳原 健治会員

皆様は、これからお話しする「ウソのようなホントの話」をご存知でしょうか。その話をするにあたり、まずは「ホントのようなウソの話」から進めたいと思います。それは漫画家の「さいとうたかお」プロが創作した「ゴルゴ13」が、物凄い狙撃能力を持つことからご紹介いたします。この漫画の中で、彼は、「1 キロ先のフットボール(⇒人間の頭部)」を打ち抜くという信じられない事を成し遂げた話があります。もちろんこれは「ホントのようなウソの話」であります。

ところが、世の中にはこの話の「射撃精度」を大きく上回るような「ウソのようなホントの話」があります。この話に入る前に、私から皆様に簡単な質問を致します。それは、手のひらに乗せた 500 円硬貨がどうして手をすり抜けて下に落ちないのかと仰うことでもあります。これは、手を構成する「原子」の外側を回る「電子(⇒マイナスの電荷)」と、500 円硬貨を構成する「原子」の外側を回る「電子(⇒マイナスの電荷)」とが互いに反発しているからだそうでもあります。ところが、この世には「素粒子」という物質がありこれは、「重力」や「電気」の力を全く受けない(⇒影響されない)そうでもあります。また、この「素粒子は非常に小さく通常の「原子」のレベルであれば、何の苦も無く通り抜けてしまうそうでもあります。

岐阜県の神岡鉱山の地中深く(約 1000m)、「スーパーカミオカンデ」という実験装置があるのですが、これは「外部」から飛んでくる「ニュートリノ」という「素粒子」を観測するものだそうです。この装置の目的は、巨大な空洞の中に「超純水」を貯めて、「ニュートリノ」が「水分子」に衝突した時に発する「チェレンコフ光」を、その壁面に配置した多くの「光電子増倍管」により観測するものだそうです。ところが現在、この実験装置に向けて、300 キロ離れた東海村から人口的に作った「ニュートリノ」を衝突させる実験(⇒T2K 実験)がなされているそうです。その精度は、「300 キロ先の約 90 センチの間隙」に「ニュートリノ」を打ち込むというもので、冒頭の「ゴルゴ13」が示した「1 キロ先のフットボール(⇒人間の頭部)」を打ち抜くような精度とは桁外れ(約 100 倍)のモノであります。以上が、お伝えしたい「ウソのようなホントの話」であります。

しかし最後に、私から皆様にチョットした疑問をお伝えしたいと思います。それは、今まで確実に「在る」と認識していた「物質」が、本来は無いモノなのかという疑問であります。「素粒子」は我々が「在る」と認識していた「物質」を何の苦もなく通過(⇒透過)していきます。これはあたかも、般若心経にある「色即是空(モノは本来空(ゼロ)である。)・空即是色(空(ゼロ)は本来モノである。)」の思想に通ずるものがあると考えます。ただ我々は、この事象に到達するために、「スーパーカミオカンデ」を持ち高度な学問運用の末に漸くこれに気付いた(まだ私は半信半疑です。)のに、今から二千数百年の昔に「お釈迦様」は何も持たず、「一切皆空」という完璧な「真理」を提唱されたことは非常に「不思議」な気がしてなりません。

<編集後記・>

今回のファイナセッションは黒川会員が担当でした。

12,100 円が集まりました。

(文責：柳原健治)